

市の施設利用・イベント時には 氏名、連絡先などの提出をお願いします

問合先 健康増進課、各施設、
イベント担当部署

感染が確認された時などに迅速に対応でき、皆さんの安心・安全が守れるよう、市の施設利用時やイベント・催しの際は、氏名・連絡先・体調などを申告する書類の提出にご協力をお願いします。

※申告書類の提出に協力いただけない場合、施設利用停止などの措置をとる場合があります。

※申告書類に記載された個人情報、感染症拡大防止の目的にのみ使用します。

申告書類に記入する事項

- 氏名、電話番号
- 発熱の有無（37.5度以上または平熱比+1度以上）
- 自覚症状の有無（息苦しさ、強いだるさなど）

申告書類の提出について

- 施設の利用者やイベント・催しの参加者は、個人またはグループごとに申告書類を作成し、提出してください。（施設供用部分を30分以上使用する場合も同様）
- 市主催事業では、参加者（個人・団体）の申告書類の提出を求めますので、ご協力ください。

施設利用時に限らず右記の事項をチェックし、普段から感染症の予防に努めてください。



発熱やせきなどがある場合は、必ず事前に医療機関に電話してください。
基礎疾患があり体調が不安な場合は、かかりつけ医に電話してください。
帰国者・接触者相談センター（可茂保健所） ☎ 3111



コロナに思う



可茂市長 井上 和夫

戦後最大の危機とも言われている今回の新型コロナウイルス感染症。私の知る高齢者の方からは「戦争に比べれば…」という声も聞かれます。しかし、これだけ便利で豊かになった今の社会に与える影響は計り知れないものがあります。そして、緊急事態宣言は解除されたものの、またいつ訪れるかもしれない感染症の波に備え、新しい生活様式への移行を進めていかなければなりません。皆が少しずつ我慢したり、不便な思いをしたりすることになるかもしれません。一方でそれが人と人とのつながりの大切さやこのまちの良さを再発見することにつながるような気がします。ピンチをチャンスに、前向きに進んでいきたいと考えています。

先日、子供たちが昼時に登校する姿を見て、一瞬驚きましたが、元気に楽しそうに歩いている姿に、顔がほころんでしまいました。今年はいつもとより短い夏休みになるなど、変則的な学校生活となりますが、少しでも効率的な学習の支えとなるよう、市立小中学校の全児童・生徒に一人一

台ずつのタブレット型パソコンを配布することになりました。学校だけでなく今回のような自宅待機となったときに、自宅でも学習することができるよう準備を進めていきます。

また、緊急経済対策として、プレミアムKマネーの発行を行い、7月から各会場での引換が始まります。多くの皆さんが地域通貨を購入し、市内の店舗でKマネーを使っていたことで、地域経済の回復に繋げる「支え愛」の事業です。

商工会議所では、食事のテイクアウト（持ち帰り）企画「かに飯応援プロジェクト」で、Kマネーと交換できる事業も実施されています。新たに持ち帰りメニューを作るなど、お店にとって負担も大きいと思いますが、一生懸命工夫しながら取り組まれています。普段何気なく利用していたお店へ行くことも控えるようになり、その分その存在の大きさに気付いたのは、私だけではないと思います。今後も一人一人が自分たちができることで、地域を元気にしていきます。